

1-3-13-6 「飛騨東照宮・金龍神社・松泰寺」縁起年表

天正	13	1585	金森長近 松倉城攻落す
	14	1586	金森長近 飛騨領国 この年大雄寺移築
	15	1587	金森長近 国分寺再興
	16	1588	金森長近 照蓮寺（高山御坊）移築 この年天神山（城山）に築城を始める
天正年中			金森長近 雲龍寺修築
慶長	5	1600	金森長近 天照寺再建（旧般若院という）
	13	1608	金森長近 京都にて逝去（85才）法号金龍院殿前兵部尚書法印要仲素玄大居士 金森2代可重 素玄寺の建築を始める 翌14年完成
元和	2	1616	徳川家康没（75才）
	3	1617	故家康に神号東照大権現勅賜（2月21日） この年日光東照権現社建立、遷宮祭（4月17日）
	4	1618	松平忠輝、金森3代重頼に預けられる（3月5日）
	5	1619	重頼 城中二の丸に東耀山御宮勸請（東照権現社）
寛永	3	1626	重頼 素玄寺に善応寺を再興させる（天保6年現在地へ移転） この年松平忠輝、信州諏訪へ移る
	5	1628	重頼 城中の東照社を西之一色へ遷座、廃寺となっていた清鏡寺を修復し、 真言僧意休を宮守とす
	9	1632	重頼 弟重勝 宗猷寺を建立、始め新安国寺という この年加藤光正、重頼に預けられる 翌年没（19才だったという）
寛永年中			重頼 光正の菩提追福のため法華寺を移転、本堂は城中の書院であったという
正保	2	1645	日光東照社に宮号宣下
慶安	2	1649	清鏡寺住職、禅僧推応に変わり、その後法華寺隠居了応院日吾上人借寺して 宮守を務める
延宝	7	1679	日吾上人病死
	8	1680	金森6代頼時（峯）東照宮を修理、松泰寺勸請、真言僧圓春房堯因法印を 第1世別当とす（時に頼時12才、堯因24才という）
天和	2	1682	松泰寺に千体佛堂建立
貞享	2	1685	松泰寺鎮守山王社修造
元禄	2	1689	頼峯 天満宮鳥居並に別当感応院建立、堯因兼帯す
	5	1692	頼峯 出羽上山へ転封、東照宮も神号碑1基を残し上山へ
	10	1697	頼峯 郡上八幡へ国替となり東照宮も八幡へ
	16	1703	第2代飛騨代官伊奈半左エ門家中の役人、松泰寺に稻荷を勸請す
正徳	2	1712	松泰寺第2世 春宵房堯眠住職す
享保	19	1734	松泰寺第3世 良純房堯周住職す
寛保	2	1742	松泰寺第4世 眠山房堯光住職す
	3	1743	松泰寺庫裡建つ（現東照宮社務所）
寛延	3	1750	松泰寺客殿建つ（現東照宮内神殿）この年第8代代官幸田善太夫逝去、松泰寺に葬る
宝暦	8	1758	金森家改易断絶（頼錦代）
	9	1759	飛騨出身の金森家臣帰郷、東照宮も西之一色へ戻る
明和	1	1764	松泰寺第5世 伯善房堯龍住職す
	3	1766	金森家再興を許さる（旗本として）

安永	8	1779	松泰寺第6世 実善法印住職す
天明	1	1781	松泰寺第7世 一音房印住職す
	2	1782	長久寺住職 岩龍房祐口、松泰寺兼帯す 第8世に数える この年水原摂津守 実父幸田善太夫の33回忌を修す
	8	1788	金森家再興成る 金森頼興代（新規切米1,500俵寄合となる）
文化	10	1813	長久寺良賢法印、松泰寺兼帯第9世となる 東照宮修復を発願 榊原郡代に訴え、その後芝郡代に引きつぎ自ら江戸 金森家へ相談のため出府
	13	1816	4月のはじめ良賢再度江戸出府 金森家―勘定奉行―寺社奉行―若年寄 など訴えるも成果を得ず帰寺、直後病死（32才）  この年12月20日江戸金森家より東照宮修造の願いにつき許されたとの 連絡が届く ―良賢死後 長久寺が金50両で松泰寺を買取など判明―
	14	1817	1月16日良賢の代り内山忠右エ門 江戸金森家と打合せのため出府 2月16日帰着 早速、芝郡代諸役を決めて工事を一挙に進める
	15	1818	4月13日 東照宮竣工 4月15日 遷宮祭（改めて日光本宮より分霊を勧請） 4月16日 供養（郡代 おかめ舞、湯立獅子など神楽を村人に習わせる）
文政	1	1818	9月17日 金龍神社竣工 正遷宮祭 9月18日 放生会 9月19日 角力
	2	1819	新宮成って初の例祭に金森鑓之進家中代参あり
	3	1820	松泰寺能舞台建つ
	4	1821	このころより長久寺不義理、東照宮の祭礼は国分寺が務める
	6	1823	長久寺良泰法印 松泰寺第10世兼帯
	7	1824	東照宮本地堂建つ 10月8日高原郷本覚寺より本地佛遷座 遷佛会行わる
	13	1829	長久寺との兼帯をやめ阿心房良典松泰寺第11世となる
天保	2	1831	高山町方の頼母子講により松泰寺能舞台修繕
	3	1832	松泰寺金100両で長久寺より離れる
	4	1833	松泰寺第12世 堯深住職す
	11	1840	松泰寺無住となり長久寺・国分寺が1ヶ月交替で寺務に当る 国中より松泰寺、御宮護持のため寄付を集めた
弘化	3	1846	松泰寺、御宮世話方手当として西之一色村へ米15俵下渡さる
嘉永	2	1849	幸田善太夫孫 祖父の100回忌法要のため家来を代参させる
安政	6	1859	松泰寺客殿普請
元治	2	1865	大鳥居建つ（現在の大鳥居）
慶応	1	1865	東照権現250年祭執行 高柳郡代属僚を卒いて参拝す
明治	1	1868	4月神佛分離令発布 松泰寺廃寺となる
	2	1869	10月、東照宮・松泰寺・金龍神社、郡代・町方差配から西之一色村へ引き渡さる この年国分寺鎮守天満宮（菅公廟）、稻荷社東照宮へ、本師堂を内部改造して遷座
	3	1870	国分寺第18世堯旺 遷俗して名を鴻巣稜威男と改め東照宮に住す
	4	1871	東照宮社掌 鴻巣稜威男・松樹友清
	5	1872	東照宮 村社に列せらる
	7	1874	東照宮社掌 江馬小平太

	11	1878	鎮守山王社新築
	36	1903	東照宮社掌 小鳥直吉・尾崎準蔵
	41	1908	西之一色氏神3社東照宮へ合祀 名実共に西之一色の氏神となる
大正	9	1920	金龍神社、高山・大名田両町有志が金森公の遺品展を兼ねて臨時大祭を行う
	10	1921	この頃金龍神社を城山金龍ヶ丘へ移すという動きあり
	11	1922	東照宮拝殿（春日造り）建立
	12	1923	東照宮社司 伊藤文三 東照宮郷社に昇格
昭和	8	1933	東照宮社司 森本弥一
	15	1940	東照宮社司 熊崎善親
	17	1942	金龍神社奉賛会発足 規約を定め会長に高山市長森彦兵衛氏推挙 金龍神社移転大改造 遷座祭執行（9月3日）
	18	1943	金龍神社神門透塀設置 完成報告祭（8月7日） 金龍神社再建事業の完了に併せ福井在住金森うた様より長近公着用の甲冑 並に信長公より拝領の短刀一振の寄贈を受く（現在高山市郷土館にて展示）
	20	1945	東照宮宮司 川西一二良
	40	1965	このころ東照宮拝殿移転
	42	1967	東照宮本殿並唐門・透塀 岐阜県指定重要文化財（1月17日）
	43	1968	幸田善太夫墓碑 高山市指定史跡（3月9日）
	49	1974	森茂白山神社、東照宮へ合祀
	53	1978	本地堂並棟札 高山市指定有形文化財（2月23日） 東照宮祭礼用具四神旗 高山市指定有形民俗文化財（2月23日）
	54	1979	東照宮宮司 森ノ本清
	55	1980	東照宮宮司 三木一弘（現職）
平成	61	1986	金森公飛騨領国400年記念大祭並に縁の遺品展開催
	10	1998	東照宮おかめ舞・獅子舞 岐阜県指定重要無形文化財（12月18日）
	11	1999	東照宮本殿防災施設並境内整備事業実施 この年全国東照宮連合会総会開催
	14	2002	金龍神社奉賛会設立、会長蓑谷穆高山市観光協会会長（9月1日）
	17	2005	東照宮、金龍神社修復、並に境内整備事業実施
	19	2007	金森長近公遷御400年祭執行（9月2日）
	20	2008	東照宮氏神100年記念臨時大祭執行予定